

## 平成 29 年度事業計画 (平成 29 年4月1日から平成 30 年3月31日まで)

### 1. 定期講演会の実施

在家者に対する仏教思想普及に関する定期講演会については、本年度は以下のよう  
事業を実施する。

- ・会 場 全国3カ所(東京都、大阪市、名古屋市)
- ・開催回数 28 回
- ・来場見込(予定) 1430 名

定期講演会3会場の詳細は次のとおり。

(敬称は略します。順不同。講師の方々は予定者を含みます。)

- 1) 東京会場(原則として毎月第2及び第4土曜日午前 10 時から  
清風クラブ研修室 東京都渋谷区上原3-32-6、中野サンプラザ  
東京都中野区4-1-1)

- ・開催回数 18 回
- ・来場者見込 1080 名

開催日

4月8日・22日、5月13日・27日、6月10日・24日

9月9日、10月14日・28日、11月11日・25日、12月9日

1月13日・27日、2月10日・24日、3月10日・24日

講師

阿満利麿(明治学院大学名誉教授)、末木文美士(東京大学名誉教授)

本多弘之(親鸞仏教センター所長)、竹村牧男(東洋大学学長)ほかの方々

- 2) 大阪会場(第3金曜日 午後3時から

大阪市北区堂島一丁目・堂島アバンザ 14 階)

- ・開催回数 5回
- ・来場者見込 200 名

5月19日、6月16日、9月15日、11月17日、3月16日

講師

山田法胤(薬師寺長老)、田代俊孝(同朋大学教授)、

奈倉道隆(東海学園大学名誉教授)、西山厚(帝塚山大学教授)ほかの方々

- 3) 名古屋会場(第3水曜日午後1時 30 分から

名古屋市中区丸の内三丁目・いちご丸の内ビル9階)

- ・開催回数 5回
- ・来場者見込 150 名

5月17日、6月21日、9月20日、11月15日、2月21日

講師

衣斐弘行(臨濟宗大泉寺住職)、加藤祐伸(真宗大谷派名古屋別院前輪番)

亀井鑛(元同朋新聞編集委員)、立川武蔵(国立民族学博物館名誉教授)ほかの方々

## 2. 出版物の刊行

在家者に対する仏教思想普及に関する出版物の刊行については、本年度は以下のような雑誌及び書籍を出版、販売する。

- 1) 協会創立 60 周年記念書籍 「悲喜をよろこぶ」、「掌を合わせて生きる」
- 2) 加藤辨三郎著作  
「いのち尊し」、「一字の力」、「教行信証のことば」、「日日あらたに」、「佛教と私」
- 3) 金子大榮選集・著作  
「阿弥陀経講話・正信偈講話」、「観無量寿経講話」、「大無量寿経講話・上」  
「大無量寿経講話・下」、「歎異抄聞思録・下」「人・佛」、「ありがたさについて」

## 3. 行事の実施

在家者に対する仏教思想普及に関する行事については、以下の事業を実施する。

在家仏教古寺巡りの会

平成 29 年 10 月予定

## 4. その他目的を達するために必要な事業

- 1) 講演会の動画ネット配信
  - ・対象:賛助会員、正会員
  - ・来場出来ない方へのサービス
- 2) 月刊誌「大法輪」の提供
  - ・対象:賛助会員、正会員
  - ・月刊誌「在家佛教」に代わる講演会筆録の提供
- 3) 会報誌「いのち尊し」の提供
  - ・月刊誌「在家佛教」休刊に伴う、誌面による情報提供
  - ・会員などからの寄稿文の掲載

## 5. 連続講演会「この世とあの世」の開催

- 1) 期間:平成 29 年 4 月より 1 年間 10 回 東京会場
- 2) 趣旨:この世とあの世について仏教ではどのようにとらえていたか、死生観、葬儀、輪廻などについて学ぶ。
- 3) キャッチコピー:どんなに「この世」でのんきな人でも、たまには、ふと、ちょっとは気になる「あの世」ではないでしょうか。あるのかないのか、どんな世界なのか、ゆっくり考え、改めて「この世」を見回すことにしましょう。

4) コーディネーター: 菅原伸郎先生

5) 講師予定: 阿満利麿先生 末木文美士先生 竹村牧男先生 本多弘之先生他